

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公開番号】特開2016-57882(P2016-57882A)

【公開日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-024

【出願番号】特願2014-184163(P2014-184163)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/08 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/08

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

前記記憶した積み込み区域の位置情報に基づき、荷下ろしされた材料の積み込み区域が、管理下にある自工区であるか、管理下でない他工区であるかを判断する自他工区判断手段と、

前記荷下ろしされた材料が他工区で積み込まれたものであると判断した場合に、その旨を報知する他工区材料報知手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 2 に記載の土木工事における材料運搬履歴管理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

また、上述した構成に加えて、記憶した積み込み区域の位置情報に基づき、荷下ろしされた材料の積み込み区域が管理下にある自工区であるか、管理下でない他工区であるかを判断する自他工区判断手段と、荷下ろしされた材料が他工区で積み込まれたものであると判断した場合に、その旨を報知する他工区材料報知手段とを備えた構成とすることが可能である。なお、自工区とは、例えば、施工を行っている土木会社等が管理している工区であり、他工区とは、施工を行っている土木会社等が管理しておらず、他の土木会社等が管理している工区のことである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

上述したように、運搬車両位置情報取得手段 15 の機能により、運搬車両の位置情報を取得することができ、取得した運搬車両の位置情報と、積み込み区域の位置情報または荷下ろし区域の位置情報とを比較することにより、運搬車両が積み込み区域内から積み込み

区域外へ進出したこと、あるいは、運搬車両が荷下ろし区域外から荷下ろし区域内へ進入したことをデータとして識別することができる。そこで、運搬車両の進出データあるいは進入データに基づいて、運搬車両の進出・進入状態を識別し、その旨の報知を行うことにより、運搬車両の運転手や管理者に対して、積み込み情報や荷下ろし情報を送信すべきタイミングを報知することができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３６】

< 自他工区判断手段 >

自他工区判断手段１７は、積み込み区域情報記憶手段２３に記憶した積み込み区域の位置情報に基づき、荷下ろしされた材料の積み込み区域が、管理下にある自工区であるか、管理下でない他工区であるかを判断するためのプログラムからなる。先に説明したように、自工区とは、例えば、施工を行っている土木会社等が管理している工区であり、他工区とは、施工を行っている土木会社等が管理しておらず、他の土木会社等が管理している工区のことである。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３７】

自他工区判断手段１７における判断では、例えば、積み込み区域情報記憶手段２３に自工区の積み込み区域の位置情報のみを記憶しておき、搬入された材料に紐付けられた積み込み区域の位置情報が、積み込み区域情報記憶手段２３に記憶された積み込み区域の位置情報のうちのいずれかに一致するか否かを判断すればよい。